



作文部門

小学校低学年の部

水を大切にしたい

富士市立須津小学校 二年 武田 喜李

八月十九日、とうきようとにじの下水道かんへいきました。しんかん線とでん車でいきました。おともだちとおともだちのお母さんと、ぼくのお母さんでいきました。ついですぐに、本ものの下水道かんのえいぞうが見れるところがありました。大きさがしれでおもしろかったです。つぎに水の国のウオルターというえいが見ました。水を大切につかってねとつたえたいだろうとぼくは思いました。ぼくが一ばん、おもしろいなと思ったのは、「アースくんのいえ」です。アースくんのいえとは、本ものいえで、水をながすと、水は、どこにいくのかが見えました。トイレで水をながすと、下水道かんへながれていきました。ながれるそくだが、速かつたです。ぼくと、友だちが水をおいかけました。それが「スゴイ速さでながれてるよ。」とぼくが言いました。じゅんばんでともだちとしました。水をながすのとながれた水を見るのでわかれました。

れました。アースのいえ全ぶの水をおいかけました。それを見て全ぶつながつてていることに、気がつきました。さいごには、ながれた水が一つになつてることがわかりました。さいごに、ボーカルサーカスへ、いきました。ボーカルサーカスとは、ボーカルが水のやくで水が海までいくしくみが体けんができることがあります。まず、雨水がふつてきます。キレイになると生活でつかえる水になります。それぞれのいえなどでつかわれます。そのあとに、きたない水とキレイな水に分けられます。キレイな水は、海へいきます。きたない水は、キレイにされてから海へながれます。たいようで、水じよう気になりかたまつてくもになり、たいようでとけて雨になります。と、言うことは、くりかえされていると思いました。自分がつかつた水は、もどつてくると気づきました。それにおどろきました。これからは、水を大切にしたいと思っています。

評

夏休みに東京都「虹の下水道館」へ行き体験した驚きや感動を生き生きと書くことができました。

「アースくんの家」でトイレやお風呂、キッチンの水がどこに流れいくのか追いかけたり、「ボーカルサーカス」の体験で、水の役をするボールの旅を見たり聞いたりして、樂しそうな表情が思い浮かぶようでした。下水道の役割や水のじゅんかんの仕組みを楽しみながら知ったことで、水の大切さに気づいた庵李さんの「水を大切にしたい」という思いは、本物だと感じることができました。



作文部門

小学校低学年の部

どきどきじょうかセンター
富士市立須津小学校 二年
渥美 莉朋

下水道についてもつとべんきょうするために、じょうかセンターへけんがくに行きました。びせいぶつがよごれをたべているとはしらなかつたのです。ごくべんきょうになりました。一ときのよごれたなには一おくびきいとしつてびつくりしました。やく五十しゆるいのびせいぶつがいます。びせいぶつをかんさつさせてもらいました。わたしは、七ひきのびせいぶつがみえました。アメーバは、ぺたんぺたんとかたちをかえながらうごいていました。アルセラがはやくとおりすぎていきました。バキニコラは、ちぢんだり、のびたりしてきました。エピステイリスはうごいておらず、いろいろな大きさでした。びせいぶつもわたしたちと同じでいきをしています。なので、そうふうきというきかいでくうきをおくつっていました。はんのうタンクというそうふうきで空気をおくつているび生ぶつがいるいけをみました。さいしょのきたない水はくさかつたけど、はんのうタンクの水はすこしきれいになつていてび生ぶつのおかげだなとおもいました。び生ぶつのきらいなものは、あぶらです。さいきんわたしもおりよ

うりをてつだつています。なのであぶらはふきとる
ようにします。あぶらのほかにも下水道にながして
はいけないものがありました。やさいくず、やくひ
ん、ビニール、わりばし、かみのけ、おちば、す
な、かみおむつです。これからわたしは、おちばや
ごみひろいをするようになります。



作文部門

小学校低学年の部

地下を流れる水のひみつ

高瀬
ひかり

わたしは、トイレの水がどこに流れしていくのか、マンホールは、なぜあるのかが気になつたのでしゃべてみました。

トイレの水をそのまま海や川に流すと、水がよごれてびょう気がふえてしまします。中せいのヨーロッパでは、下水がなくてコレラなどのびょう気が流行したそうです。

トイレの水が流れると汚水になり下水かんを通して下水しょ理場に運ばれます。下水しょ理場に運ばれてきたない水はさまざまにせつやせつびをとおしてさいごは、川や海に流されます。下水しょ理の時にでてきたどろはしょうきやくしょ理されてからうめたてしょ分場へ運ばれます。しょうきやくする時のはいねつは、エネルギー源としてりようされます。ふじ市では、その、エネルギーをしよりじょう

のねんりようとしてつかっています。マンホールはなぜあるのかといふと、人が地下を点けんするためです。地下には、下水道、ガスや雷気などがあります。家のまわりのマンホールを見てみたら汚水とかかれた大きいマンホールと二十二セ

ンチの小さいマンホールは、おすすめとよばれ、家のトイレやおふろから出た汚いよごれた水をあつめて下水かんに流します。つまつた時の点けんにもつかわれます。マンホールは、地いきによつてかかっている絵がちがいます。わたしの家の近くでは、ふじ山の絵がかかっていました。京とでは、ピカチュウの絵がかかれています。まつどのおばあちゃんの家の近くでは、コアラの絵がかかれています。なぜかというと、近くにユーカリ交通公園があります。だからマンホールにコアラの絵がかれるようになつたそうです。

今回、下水のしせつを調べたら、わたしたちのくらしに大切なやくわりをはたしていることが、わかりました。マンホールのふたがちいきによつていろいろな絵がかかれていることがわかつておもしろかったです。もしかしたら、お茶畑と富士山やバラの花の絵を書きたいと思いました。

下水道
富士市立須津小学校
二年
原
妃希

けんみんの日に、友だちとかのがわのじょうかセントナーに行きました。

ので、たくさんしることができたので行けてよかったですとおもいました。

じょうかセンターは、とても大きくて地下したりました。モニターがたくさんあるへや、はつでんきがありました。

わたしは、よごれた水をとおくからきました。

とてもくさかったです。

きつとうごかなかつたらいえやどうろもこのにおいになつてしまふとおもいました。だから、ついでんした時も、このはつでんきがうごいてくれているので下水道は、とてもたいせつだとおもいました。よごれた水をきれいにするタンクも見ました。はじめ下水道にながれてきた小さなごみがうかんでいるおうど色の水でした。よこのタンクではそうふうきでつくつたくうきのぶくぶくで、びせいぶつがげいんきにたべて水がきれいになることをおしえてもらいました。

いたいこんでくるところでは、よごれた水のびせいぶつをけんびきようで見てみました。たくさんのがいせいぶつがいました。わいたしのお気にいりはアメーバです。ぐによぐによのへんな形でおもしろかったです。びせいぶつは、あぶらがにがてで食べられないそびせいいぶつは、あぶらを水でながさないでくれるといいな。とおもいました。

らいねんも、じょうかセンターの見学があるとおしゃれもらつたので、また行きたいなどおもいました。

た。

かの川せいぶじょうかセンターに行つたよ。

富士市立富士第一小学校二年 川田 和来

今日は、しずおかげんみんの日です。とくべつに、かの川せいぶじょうかセンターの見学ができます。

ぼくが、すごいな、と思つたばしょがあります。しせつ見学の時に見た水しよりとうです。下水道からおくれてきただんちやきたない水がさいしょちんでんちで、大きいゴミやかすをとります。つぎに、はんのうタンクで、空気を入れてぶくぶくさせたところにゴミをたべてくれるび生ぶつがいます。ぼくは、それを聞いてびっくりしました。なぜなら、ありよりも小さいのにび生ぶつがゴミをたくさんたべて水をきれいにしてくれるからです。さいごのさいしゅうちんでんちの水で、ゴミをたべたび生ぶつがしづんでいきます。そのあととくされた水は、川にながされます。

ぼくは、下水道はこんなに工ふうされてリサイクルされているんだな、と思いました。

ぼくが、エコのためにできることは、二つあります。一つ目は、あぶらをふいてからおさらやフライパンをあらうことです。なぜなら、び生ぶつはあぶら

がきらいで、分かいができないからです。二つ目は、あらいものをする時にスポンジであらつたあとに水をながすことです。なぜなら、水を出したままあらうと水がむだになるからです。

あつて良かつた下水道
富士市立富士第一小学校 二年 渡邊 瑛斗

ぼくは、六月に、大阪市下水道科学館へ行きました。そこで、マンホールの絵は市ごとにちがうことを見ました。そこで、マンホールカードをもらいました。

それからぼくは、マンホールカードをあつめることにしました。富士市のマンホールカードは、富士山とトイレットペーパーでした。ピンク色の富士山の色づかいが、きれいだなと思いました。

これから、りょこうに行つた先でマンホールカードをもらうのが楽しみです。

そして、マンホールよりも下水道のことをしりたくなりました。だから、図書館で「下水道のひみつ」という本をかりて、読みました。

その本で、ぼくが一番ビックリしたことは、むかしあは下水道がなかつたから、汚れた水やウンチやオシッコを家のまわりにすてていたことです。（きっと、くさくてきたなかつただろうな。）と、思いました。そんな町にはすみたくないな。

今は、汚水を家のまわりにすてたりしません。下水道が下水処理場につながつていて、び生物が汚水を食べてくれて、水をきれいにしてくれます。そういうせつびを作つてくれて、ほんとうに良かつたです。び生物のおかげできれいな川や海を守れているから、ぼくは、び生物をおうえんしたくなりました。